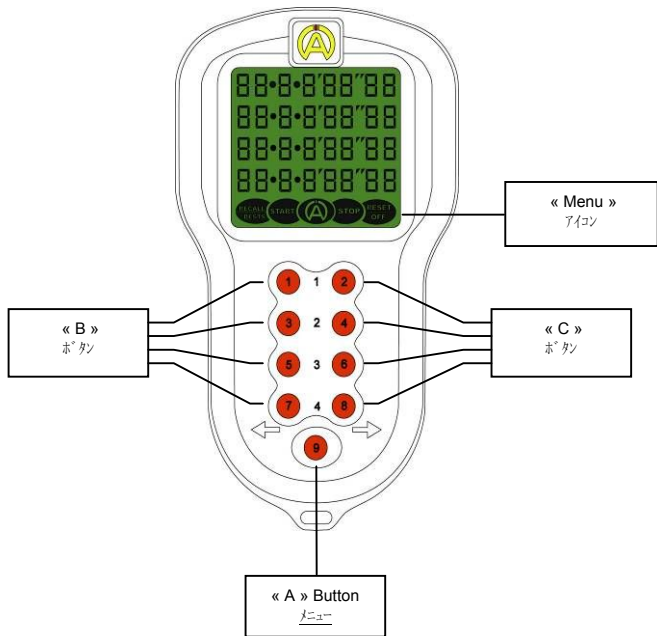
KRONOS v2 A-192

Operating Instructions (JP)

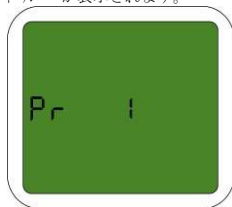
1. ALFANO presents the KRONOS v2

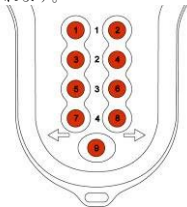
世界中で愛用されています、 ALFANO ｽﾄｯﾌﾟｳｫｯﾁ KRONOS v2 はﾚｰｼﾝｸﾞｼｰﾝに必要な全ての機能を兼ね備えております。

2. はじめに

KRONOS v2には8通りの計測方法があります; ﾀｲﾐﾝｸﾞﾓｰﾄﾞでは1～4台の計測をそれぞれ表示します。最大区間9区間で、99LAP、9`59``99まで計測可能です。
画面上では、最大4名のドライバー比較が容易に目視可能で、そのﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲもALFANO独自のLEDを使用することによって、非常にｸﾘｱｰになっています。 そして、KRONOS V2は完全防水 «IP56 » になっていますので、どんな状況下においても使用可能です。

3. 任意のモードで電源 ON

3.1 通常電源ON:

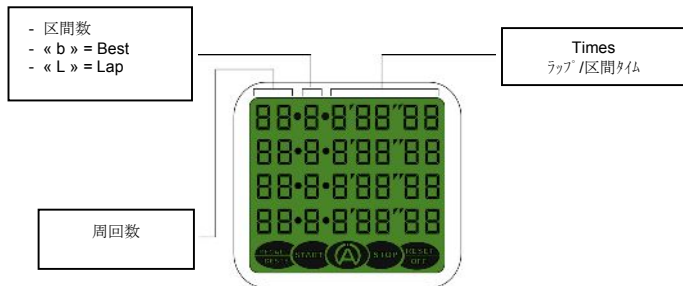
- ﾎﾞﾀﾝ9を1秒間押すことによって、電源ONになります。
- この場合KRONOSは、その前に使用したﾓｰﾄﾞで立ち上がります。
- ﾓｰﾄﾞが立ち上がる前に、3秒間ﾓｰﾄﾞﾅﾝﾊﾞｰが表示されます。

3.2 ﾓｰﾄﾞを変更しての電源ON:

電源ONの際、本体8通りのﾓｰﾄﾞから選んで起動することが可能です。ﾎﾞﾀﾝ9と一緒にﾎﾞﾀﾝ1-8を押すことによって、起動するﾓｰﾄﾞが変更されます。

ﾎﾞﾀﾝ 1+9 ＝ ﾓｰﾄﾞ1
ﾎﾞﾀﾝ 2+9 ＝ ﾓｰﾄﾞ2
ﾎﾞﾀﾝ 3+9 ＝ ﾓｰﾄﾞ3
ﾎﾞﾀﾝ 4+9 ＝ ﾓｰﾄﾞ4
ﾎﾞﾀﾝ 5+9 ＝ ﾓｰﾄﾞ5
ﾎﾞﾀﾝ 6+9 ＝ ﾓｰﾄﾞ6
ﾎﾞﾀﾝ 7+9 ＝ ﾓｰﾄﾞ7
ﾎﾞﾀﾝ 8+9 ＝ ﾓｰﾄﾞ8

注意: ﾓｰﾄﾞ変更のために、1-8でﾎﾞﾀﾝを押して電源ONの場合、その前の測定ﾃﾞｰﾀは自動的に削除されてしまいますので、ご注意ください。
ﾓｰﾄﾞ変更なしに、ﾎﾞﾀﾝ9のみで立ち上げた場合は、ﾃﾞｰﾀは残っています。

操作途中で、ﾓｰﾄﾞを切り替えたい場合は一度電源 OFF にして、上記の方法でﾓｰﾄﾞ変更を行ってください。

4. Mode 1（ﾓｰﾄﾞ1）

4.1 表示:

4.2 電源ON KRONOS v2:

Kronos v2 をmode 1で立ち上げた場合, 本体は自動的に« STOP » ﾓｰﾄﾞになります。 (« START » ｱｲｺﾝが点滅します) 点滅によって本体が測定可能を意味します。

追記: 同じﾓｰﾄﾞで立ち上げた場合は、前の測定ﾃﾞｰﾀが残っています。

本体起動:

KRONOS v2 « STOP » ﾓｰﾄﾞにて« START » ｱｲｺﾝが点滅しているのを確認後、ﾎﾞﾀﾝを押して測定を開始してください。

B1 ﾃﾞｰﾀ1 測定開始
B2 ﾃﾞｰﾀ2 測定開始
B3 ﾃﾞｰﾀ3 測定開始
B4 ﾃﾞｰﾀ4 測定開始

« START » ｱｲｺﾝは固定され、« STOP »ｱｲｺﾝは消えます。 測定が開始された列は、下図のようにドットが2つ表示されます。 これは測定が開始されたことを意味されます。

« B1..B4 »を再度押すことによって、それぞれのLAPﾀｲﾑが測定・表示されていきます。

01•b• 1'57"15

さらに、Bﾎﾞﾀﾝを押していくことによって、LAPﾀｲﾑ測定を継続していきます。

4.3 測定中、各データ**« BEST »** 表示:

計測中ﾎﾞﾀﾝ« A »を押すと,KRONOS v2 はﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ下部に« START-BEST »表示され、2秒間各データ別に« b » (BEST) が表示され、その後自動的に通常計測画面に戻ります。

ﾎﾞﾀﾝ« A »を1度押すとﾍﾞｽﾄLAPが表示され、2度押すと最終LAPが表示されます。
それぞれ2秒間表示され、その後は通常の計測画面に戻ります。

ﾎﾞﾀﾝ« A »を3回押すと、それまでの計測合計時間が2秒間表示されます。時間・分・秒・ 1/100 単位で目視が可能です。

さらにﾎﾞﾀﾝ« A »を押すと« START » ﾎﾟｼﾞｼｮﾝに戻り、計測ができます。

4.4 区間ﾀｲﾑ計測:

« START »ﾓｰﾄﾞ時にﾎﾞﾀﾝ« C1..C4 »を押すことによって、区間ﾀｲﾑが計測可能になります。周回数とドットの間に、区間数ﾅﾝﾊﾞｰが表示されます。

各ﾗｯﾌﾟ最大9区間まで計測可能です。 区間計測は « C1..C4 »を押していくことによって、区間1.区間2...と計測されていきます。 区間を取り終えて、LAPﾀｲﾑﾎﾞﾀﾝ« B1..B4 »を押すことによって、画面上は最終区間ﾀｲﾑが2秒間表示された後、LAPﾀｲﾑが表示されます。

4.5 ﾀｲﾑ計測中のﾃﾞｰﾀ消去:

ﾀｲﾑ計測中は、« B1..B4 » または « C1..C4 » を1秒間押すことによって、任意のﾃﾞｰﾀを消去することができます。

4.6 ﾀｲﾑ計測の中断 « STOP » mode:

ﾎﾞﾀﾝ« A »を1秒間押すと,« STOP » ｱｲｺﾝが現れ、«START» ｱｲｺﾝが再び点滅を始めます.
小さなドットが消えたことが、それを意味します。

4.7 « STOP »ﾓｰﾄﾞにおける、各ﾃﾞｰﾀのﾍﾞｽﾄﾗｯﾌﾟ « b » (BEST) 表示:

« STOP »ﾓｰﾄﾞで(« START »ｱｲｺﾝ点滅), ﾎﾞﾀﾝ« A »を押すことによって、KRONOSは« STOP-BEST »ﾓｰﾄﾞになります。

4.8 計測ﾃﾞｰﾀの確認　« RECALL »ﾓｰﾄﾞ:

« STOP »ﾓｰﾄﾞで(« START »ｱｲｺﾝ点滅), ﾎﾞﾀﾝ« A »を2回押すことによって、KRONOSは « STOP-RECALL »ﾓｰﾄﾞになります。

初めにKRONOSは下記内容を表示します:

- 各データの経過合計時間

その次に« B4 » と « C4 »を押す:

- 各LAPﾀｲﾑ «L» (LAP) もしくは « b » (BEST) ﾏｰｸ右に表示.
- 各区間ﾀｲﾑ それぞれLAPの区間数が表示されます

ﾎﾞﾀﾝ« B4 »でﾃﾞｰﾀを逆戻りさせて、ﾎﾞﾀﾝ « C4 » でﾃﾞｰﾀを先送りします。

4.9« STOP » ﾓｰﾄﾞにおけるﾃﾞｰﾀの消去:

« STOP »ﾓｰﾄﾞ (« START »ｱｲｺﾝ点滅)中にﾎﾞﾀﾝ« A »を3回押すことによって、KRONOSは « STOP-RESET »ﾓｰﾄﾞになります。

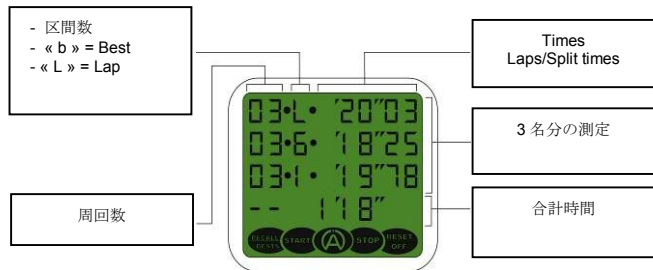
4.10 KRONOS v2　の電源OFF:

« STOP »ﾓｰﾄﾞ (« START »ｱｲｺﾝ点滅)中にﾎﾞﾀﾝ« A »を3回押すことによって、KRONOSは « STOP-OFF »ﾓｰﾄﾞになります。
その状態で2秒間待つと、本体電源が自動的にOFFになります。

5. オプション2

ｵﾌﾟｼｮﾝ2は、表示認識がｵﾌﾟｼｮﾝ1とは異なりますので、ご注意ください。

6. オプション3 ﾎﾞﾀﾝA＋B2

6.1 表示内容

6.2 参照:

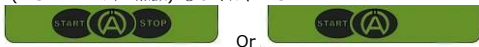
決められた走行時間内における、テストで、この表示ﾓｰﾄﾞは非常に役立ちます。

6.2.1 計測開始、電源OFF:

« STOP »ﾓｰﾄﾞで(« START »ｱｲｺﾝ点滅), ﾎﾞﾀﾝ« A »を押すことによって、KRONOSは« STOP-BEST »ﾓｰﾄﾞになります。

ﾎﾞﾀﾝ« B4 »を2秒間以上押し続けると 計測は停止され、小さなﾊﾞｰ（―）が消えます。

6.2.2 ﾃﾞｰﾀの消去

« STOP »ﾎﾟｼﾞｼｮﾝ(« START »ｱｲｺﾝ点滅) もしくは、« START » ﾎﾟｼﾞｼｮﾝ

ﾎﾞﾀﾝC4を2秒以上押すことによって、ﾃﾞｰﾀ消去が行われます。

注意:

C4で時間をﾘｾｯﾄしない限り、本体電源OFFができません。

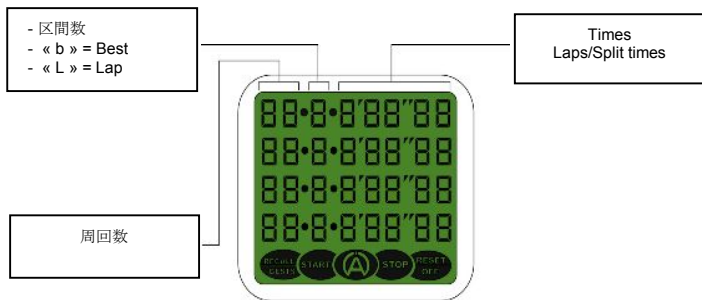
6.3 機能 :

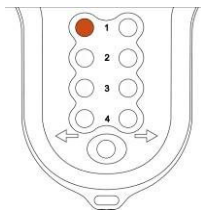
全ての基本はｵﾌﾟｼｮﾝ1と共通でﾓｰﾄﾞ唯一の違いは最大3台計測となり、1台分は、合計経過ﾀｲﾑの表示となるとこです。

7. オプション 4　ﾎﾞﾀﾝA+C2

ｵﾌﾟｼｮﾝ４は、ｵﾌﾟｼｮﾝ２同様、各LAPでの経過ﾀｲﾑが秒単位で目視できるﾓｰﾄﾞです。

8. オプション 5　ﾎﾞﾀﾝA+B3

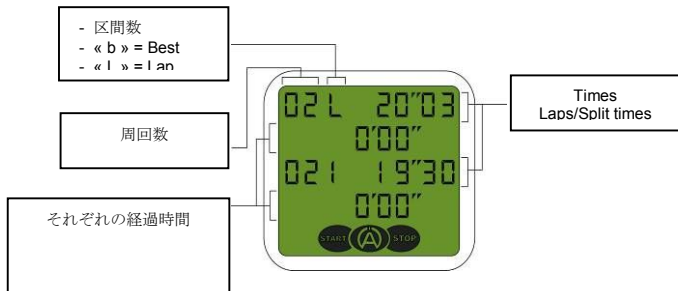
8.1 表示:

8.2 機能:

ｵﾌﾟｼｮﾝ 5 は、基本はｵﾌﾟｼｮﾝ 1 と同じですが、ﾎﾞﾀﾝ B1 を押すことによって、4 台全てが同時にｽﾀｰﾄされます。

それ以外は、全てｵﾌﾟｼｮﾝ1と同じです。

9. オプション **6 ﾎﾞﾀﾝA+C3**

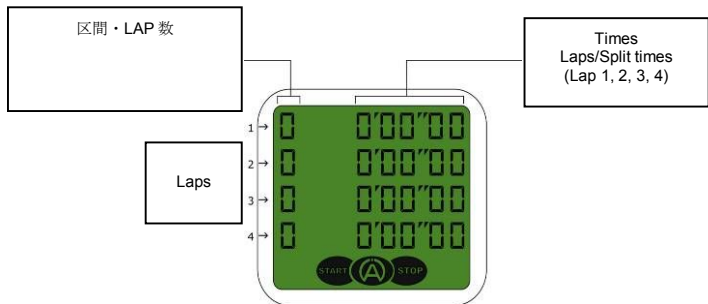
ｵﾌﾟｼｮﾝ6は、ｵﾌﾟｼｮﾝ5において各LAPの経過ﾀｲﾑが秒単で目視できるﾓｰﾄﾞです。

10. オプション **7 ﾎﾞﾀﾝA+B4**

10.1 表示**:**

10.2 機能**:**

このﾓｰﾄﾞでは、最大2ﾄﾞﾗｲﾊﾞｰを、LAP・区間・経過時間全てを表示することができます。
ﾎﾞﾀﾝ« B1 »« B3 »で LAP, ﾎﾞﾀﾝ« C1 »« C4 »で区間ﾀｲﾑ計測を行います。

11. オプション8 ﾎﾞﾀﾝA+C4

11.1 表示:

それぞれが、ﾀｲﾑと同時にその前の区間ﾀｲﾑも同時画面に表示されますので、同じﾄﾞﾗｲﾊﾞｰを４周限定ですが、明確にその違いを目視することができるのが、ｵﾌﾟｼｮﾝ8となります。

11.2 ｽﾀｰﾄ方法:

ｽﾄｯﾌﾟ (1) &ｽﾀｰﾄ (2) = « B2 »
ｽﾄｯﾌﾟ (2) &ｽﾀｰﾄ (3) = « B3 »
ｽﾄｯﾌﾟ (3) &ｽﾀｰﾄ (4) = « B4 »
ｽﾄｯﾌﾟ (4) = « B4 »を長押し

注意: 計測中にﾎﾞﾀﾝ« A »を長く押すと、全ての計測がストップされ、それまでの経過時間もｸﾘｱされてしまうので、ご注意ください。

ﾎﾞﾀﾝ« C1..C4 »を押すことによって、区間ﾀｲﾑが表示され、５秒後には元の計測画面に戻ります。